

## 会津若松、歴史と雪景色めぐり



会津若松市も冬に入り、すっかり雪化粧となっています。

新年を迎え大河ドラマ「八重の桜」ブームでも熱く盛り上がっています。

今回はそんな初春の雪景色を、幕末の歴史を辿りながらめぐってみました。

### 十日市



会津若松市の新年を飾る初市です。毎年1月10日に行われ400年以上も前から続く、伝統的な行事です。毎年15万人以上が訪れる新年の風物詩となっています。

約400店舗もの出店があり、店頭には起き上がり小法師、風車、市飴などの縁起物や日用雑貨、漆器、飲食物といった様々な商品が並んでいます。

(撮影日：2013年1月10日)



### 鶴ヶ城



本年は大河ドラマ「八重の桜」で注目の会津の名城、鶴ヶ城。

戊辰戦争では八重がスペンサー銃を武器に籠城戦に参加、活躍した舞台です。

郭内にもたくさんの「八重の桜」のぼりや案内板が立っており、観光客を歓迎しています。

冬にはお堀は一面氷が張り、郭内の史跡も雪に覆われて、独特の風情をみせてい

ます。

(撮影日：2013年1月21日)



### 西郷頼母邸跡



鶴ヶ城北出丸を出たところに、会津藩筆頭家老、西郷頼母邸跡があります。

ここは、戊辰戦争で城下に新政府軍が侵入した際、お家の恥とならぬよう一族の女子21人が自決した場所です。

八重とともに、会津婦女子の壮絶さを今に伝えています。

(撮影日：2013年1月21日)

### 東山温泉



会津若松市の中心地から車で10分程、会津の奥座敷・東山温泉も雪が降り積もり、冬ならではの風情を醸し出しています。

今から約千三百年前、名僧・行基が会津地方に巡行した折、川岸に噴出する温泉を発見したのが東山温泉の始まりと言われています。

当時は野猿が群れて入浴していたことから「猿湯」と呼ばれ、傷、火傷に効果があるとされていました。

戊辰戦争で負傷した新選組副長土方歳三も、ここで傷を癒したと伝えられています。

土方歳三はこの後仙台を経て、函館・五稜郭の戦いへと向かいます。

(撮影日：2013年1月21日)



会津若松河東工業団地そばの、磐越自動車道から眺める磐梯山も、雪の中に凜としてそびえていました。

厳しくも暖かい、冬の会津にも触れてみていただきたいと思います。

